

(法第 10 条第 1 項第 5 号関係様式)

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

本法人は、子どもたちの未来を育むことを目的に、教育・地域・産業をつなぐ実践活動を市民主体で進めていくために設立するものです。

近年、地域社会では少子高齢化や人口減少に伴い、教育や産業の継続にさまざまな課題が生じています。とくに、地域の子どもたちが将来の選択肢や職業観を広げる機会が限られており、学校教育と社会との接点をいかに構築するかが重要なテーマとなっています。

未来ギフト実行委員会はこれまで、唐津市を拠点として、「はたらく人プロジェクト」「馬渡島ゲンコウ復活プロジェクト」などの活動を展開し、地域の大人が子どもたちの学びに関わる“共育（ともに育つ）”の環境づくりを進めてきました。これらの活動は、地域内外の多様な主体が連携し、教育機関・行政・企業・住民が世代を超えて未来を支え合う新しい地域づくりのモデルとして発展してきました。

今後は、こうした活動を継続的かつ体系的に発展させるため、特定非営利活動法人としての組織基盤を整え、より広い範囲で共感と協働の輪を広げていくことを目指します。

2 申請に至るまでの経過

未来ギフト実行委員会は、2020 年度より唐津市を拠点に、「教育×地域×産業」を結びつける実践活動を展開してきました。特に、地域の職業人と小中学生をつなぐ「はたらく人プロジェクト」では、学校の授業内において、地域の大人が自らの仕事や人生を語る場を設けることで、生徒の進路意識や学習意欲の向上に寄与しています。

こうした取り組みは、唐津市立浜玉中学校での実践を通じて、全国平均を上回る教育成果を挙げるなど、具体的な効果が現れており、地元の教員や企業からも高く評価されています。

また、絶滅危惧柑橘「ゲンコウ」の復活を目指す「馬渡島ゲンコウ復活プロジェクト」では、高校生・農家・企業・ボランティア等と連携し、植樹・収穫・商品開発に取り組んでおり、生物多様性の保全と地域産業の再生を両立させるモデルケースとして活動を広げています。

これらの活動は、農林水産省「ディスカバー農山漁村の宝」や日本商工会議所の取組を通じて外部評価にもつながっており、今後さらなる展開と持続可能な運営体制を築くために、法人格の取得を目指すに至りました。

令和 7 年 9 月 24 日

特定非営利活動法人未来ギフト
設立代表者住所
佐賀県唐津市二太子 4656 番地 27
氏名 大島 史郎